

令和7年(2025年)3月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年3月 数 量 (トン)	2025年3月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。天候は安定していたため数量はやや増加しました。平均単価はかなり増加しました。	721	155	106%	132%
2		キャベツ	神奈川県産、愛知県産中心の入荷でした。数量は減少し、平均単価は大幅に増加しました。	674	190	81%	165%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。数量はかなり増加し、平均単価は減少しました。	238	396	117%	86%
4		ほうれん草	茨城県産中心の入荷でした。数量はかなり増加し、平均単価は減少しました。	68	504	142%	83%
5		馬鈴薯	鹿児島県内は3月下旬まで降雨続きであったため、数量は大幅に減少し、平均単価は大幅に増加しました。	141	304	52%	173%
6	果 実	その他柑橘	中晩柑類の生産量の少ないことから、入荷が少なく、数量は大幅に減少しました。平均単価はかなり増加しました。	248	461	54%	131%
7		りんご	生産量が少なく、数量は大幅に減少しました。平均単価は増加しました。	148	468	59%	115%
8		いちご	九州産中心の入荷でした。暖候期を迎えたことにより、数量は増加しました。平均単価は減少しました。	173	1,368	113%	87%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上